

証券コード: 6469



株式 放電精密 加工研究所

2022年2月期 第2四半期 決算説明会資料

2021年 10月14日



■ 2022年2月期第2四半期決算概要

■ **2022年2月期通期連結業績予想** ···P.13~

□ 本資料のご説明にあたり ・・・P. 3

■ 事業環境認識と取り組み状況 ・・・・P.19~

□ 2022年2月期第2四半期決算概要(連結) ・・・P. 4

□ 2022年2月期第2四半期利益の変動要因 ···P. 5

□ 事業概要 ····P. 6

□ 2022年2月期第2四半期セグメント別概要 ···P. 7~

□ 連結貸借対照表とC F の状況 ・・・・P.11

□ 2022年2月期 設備投資・償却費・研究開発費・・・P.12

川 別紙①:2022年2月期第2四半期 決算補足資料

■ 別紙②:企業概要について

本資料のご説明にあたり



2022年2月期連結業績予想および配当予想の公表履歴

2021年 4月 6日:2022年2月期通期連結業績予想の公表

2021年 7月 6日:2022年2月期通期連結業績予想の公表(第2四半期・通期の業績修正)

2021年10月 5日:2022年2月期通期連結業績予想の公表(通期の業績修正)

2021年2月期 退職給付債務の計算方法変更による遡及処理

2022年2月期第1四半期連結会計期間より、連結子会社である KYODO DIE-WORKS(THAILAND)CO.,LTD.の 退職給付債務の計算方法を変更したことにより、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度の連結財務諸表は遡及処理を反映

2022年2月期第2四半期 決算概要(連結) 【4】//



(単位:百万円)

※22年2月期第2Q計画:21年7月6日公表 業績予想

			(中位:口/刃刃		
	21年2月期 第2Q実績	22年2月期 第2Q計画	22年2月期 第2Q実績	前期差 増減	計画差 増減
売 上 高	5,502	6,516	6,427	+925	▲ 88
売 上 原 価	4,611	5,262	5,080	+469	▲ 181
売 上 総 利 益	890	1,253	1,346	+456	+93
販 管 費	1,091	1,074	1,075	▲ 16	+1
営 業 利 益	▲200	179	271	+472	+92
営 業 外 損 益	▲ 18	▲8	▲1	+16	+7
経常利益	▲218	170	269	+488	+99
特 別 損 益	▲ 9	15	20	+29	+4
税 金 等 調 整 前四 半 期 純 利 益	▲228	185	290	+518	+104
法人税等	80	69	107	+26	+37
親会社株主に帰属する 四 半 期 純 利 益	▲309	116	183	+492	+66

- ◆売上高6,427百万 前年同期比16%増 計画は未達
- ◆営業利益271百万 前年同期の赤字から黒字化 計画は達成
- ◆親会社株主に帰属する四半期純利益183百万 計画は達成

2022年2月期第2四半期利益の変動要因





※計画比:21年7月6日公表 業績予想

※純利益:親会社株主に帰属する四半期純利益

事業概要



放電加工·表面処理

- 航 空 ・ 宇 宙 〜航空機エンジン部品
- 交 通 · 輸 送 ~自動車表面処理部品
- 環境・エネルギー ~産業用ガスタービン関連部品





金

● 住 宅 ~アルミ押出用金型● 交 通 ・ 輸 送 ~セラミックスハニカム用押出用金型





置等 機

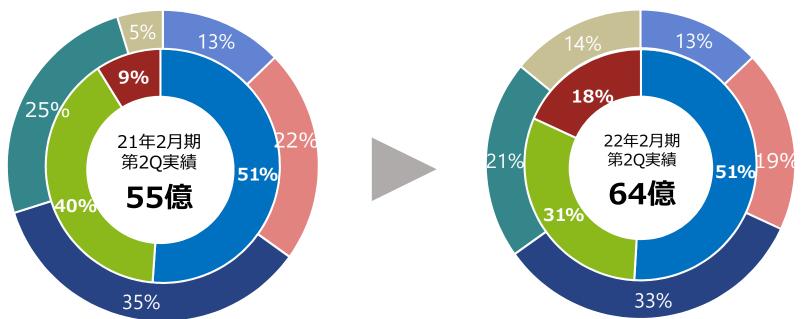
- 機械設備 ~プレス機・プレス付帯設値交通・輸送 ~自動車関連プレス部品 設 備 ~プレス機・プレス付帯設備





セグメント別/事業分野別売上構成比率(連結)

セグメント別■ 放電加工・表面処理 ■ 金型 ■ 機械装置等



事業分野別■航空・宇宙 ■ 交通・輸送 ■ 環境・エネルギー ■ 住宅 ■ 機械設備

2022年2月期第2四半期セグメント別概要 44/1/



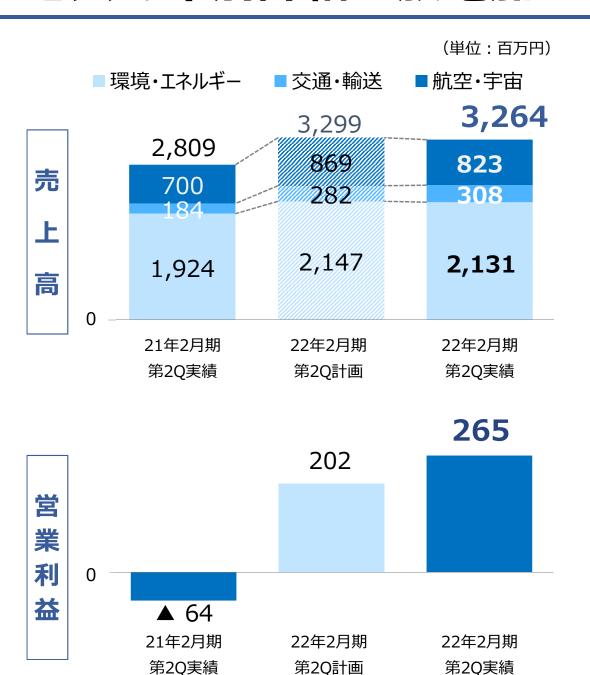
(単位:百万円)

									(半位、日刀口)	
						21年2月期 第2Q実績	22年2月期 第2Q計画	22年2月期 第2Q実績	前期差 増減	計画差 増減
	放電	3加二		表面多	処理	2,809	3,299	3,264	+454	▲34
売	航	空	•	宇	宙	700	869	823	+123	▲45
上高	交	通	•	輸	送	184	282	308	+124	+25
1,-3	環:	境 •	エネ	、ル =	ド ー	1,924	2,147	2,131	+207	▲15
営業	利益					▲ 64	202	265	+329	+63
売	金				型	2,205	1,934	2,000	▲ 205	+66
上上	住				宅	1,410	1,307	1,352	▲ 57	+45
高	交	通	•	輸	送	795	626	647	▲ 147	+21
営業	利益					231	269	278	+46	+8
売	機	械	装	置	等	486	1,282	1,162	+675	▲120
上	機	械		設	備	256	1,012	904	+647	▲108
高	交	通	•	輸	送	230	270	258	+27	▲11
営業	利益					82	186	177	+94	▲8
全	7	±	費	į	用	▲ 450	▲ 478	▲ 449	▲0	▲28
全	売		上		高	5,502	6,516	6,427	+925	▲88
社	営	業		利	益	▲ 200	179	271	+472	+92

※22年2月期第2Q計画:21年7月6日公表 業績予想

セグメント別詳細:放電加工・表面処理





前期比 增収·增益

売上高: 2,809 ⇒ **3,264** (+454)

営業利益: ▲64 ⇒ **265** (+329)

売上高増減要因(前期比/計画比)

- **□航空・宇宙(↑ / ↓)**
 - ◇前期比は、航空機エンジン部品の一部アイテムの生産量増加と、 航空宇宙関連部品はAPNetサービスで増収。
 - ◇計画比は、航空機エンジン部品の一部アイテムが想定を 下回り減収。
- □**交通・輸送(↑ / ↑**)
 - ◇前期比・計画比ともに自動車関連の表面処理部品が 市場の回復に伴い増収。
- □環境・エネルギー(↑ / ↓)
 - ◇前期比は、ガスタービン部品の受注が堅調に推移し、 生産性が向上したことにより増収。
 - ◇計画比は、若干未達

営業利益増減要因 (前期比/計画比)

- \Box (\uparrow / \uparrow)
 - ◇前期比は、前期実施した航空機エンジン部品の 減損処理により減価償却費が減少。
 - ◇計画比は、生産体制の見直しなどのコストダウン施策により 収益性が改善

セグメント別詳細:金型





前期比 減収·増益

売 上 高: 2,205 ⇒ **2,000** (▲205) 営業利益: 231 ⇒ **278** (+46)

売上高増加要因(前期比/計画比)

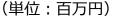
- □住宅(↓ / ↑)
 - ◇前期比では、新型コロナウイルスの感染拡大による住宅需要 低迷の影響を受け、アルミ押出用金型が受注減により減収。
 - ◇計画比では、産業品の需要が想定より回復したことで増収。
- □**交通·輸送**(↓ / ↑)
 - ◇前期比では、前期第2Qより続く自動車需要を勘案した 生産計画の影響が継続したことからセラミックスハニカム押出用 金型が減収。
 - ◇計画比では、自動車需要が想定より回復したことで増収。

営業利益増減要因 (前期比/計画比)

- \Box (\uparrow / \uparrow)
 - ◇前期比では、アルミ押出用金型の生産体制の見直しや 合理化推進などの施策により収益性が改善
 - ◇計画比では、増収により増益

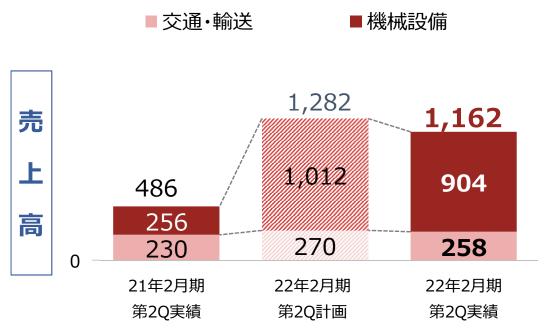
セグメント別詳細:機械装置等





22年2月期

第2Q実績



186 **177**82

22年2月期

第2Q計画

営

業

利

益

0

21年2月期

第2Q実績

前期比 增収·增益

売上高: 486 ⇒ **1,162** (+675) 営業利益: 82 ⇒ **177** (+94)

売上高減少要因(前期比/計画比)

- **□機械設備(↑ / ↓)**
 - ◇前期比では、大型機含む前期からの納入期ズレ分の 販売などにより増収。
 - ◇計画比では、機械販売の納入月ズレ等で減収。
- □**交通・輸送(↑** / ↓)
 - ◇前期比では、自動車関連プレス部品が若干回復したことと、 シェアリングサービスも堅調に推移したことから増収。
 - ◇計画比では、自動車関連プレス部品の生産計画見直しにより 減収。

営業利益増減要因 (前期比/計画比)

- \Box (\uparrow / \downarrow)
 - ◇前期比では、大型プレス機の販売による増収で増益。
 - ◇計画比は、減収により減益。

連結貸借対照表とキャッシュ・フローの状況



連結貸借対照表

(単位:百万円)

流動資産

6,228

前年比: +273

固定資産

10,166

前年比: +703

流動負債

6,548

前年比:1,317

固定負債

4,652

前年比: ▲555

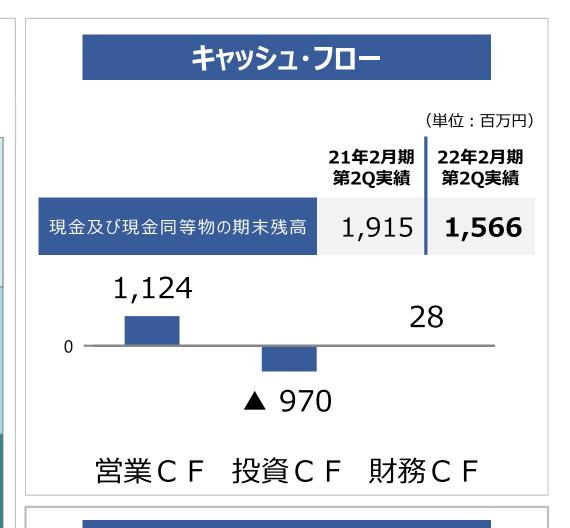
純資産

5,193

前年比:+214

資産の部

負債純資産の部



自己資本比率

2022年2月期第2Q : 27.8%

2021年2月期 : 28.3%

2022年2月期 | 設備投資·償却費·研究開発費



設備投資/減価償却費

		(単位:百万円)	
	21年2月期 第2Q実績	22年2月期 第2Q実績	22年2月期 計画
設 備 投 資	1,160	1,153	1,400
減価償却費	541	411	960

2022年2月期 主な投資案件

- ●2019年契約の大和事業所隣地土地取得 ※土地取得金額約9億
- 定期更新設備のみ実施

研究開発費

	21年2月期	22年2月期	22年2月期
	第2Q実績	第2Q実績	計画
研究開発費	22	5	30

2022年2月期 主な投資案件

■DXやICTを活用した次世代に向けた生産体制構築

(単位:百万円)

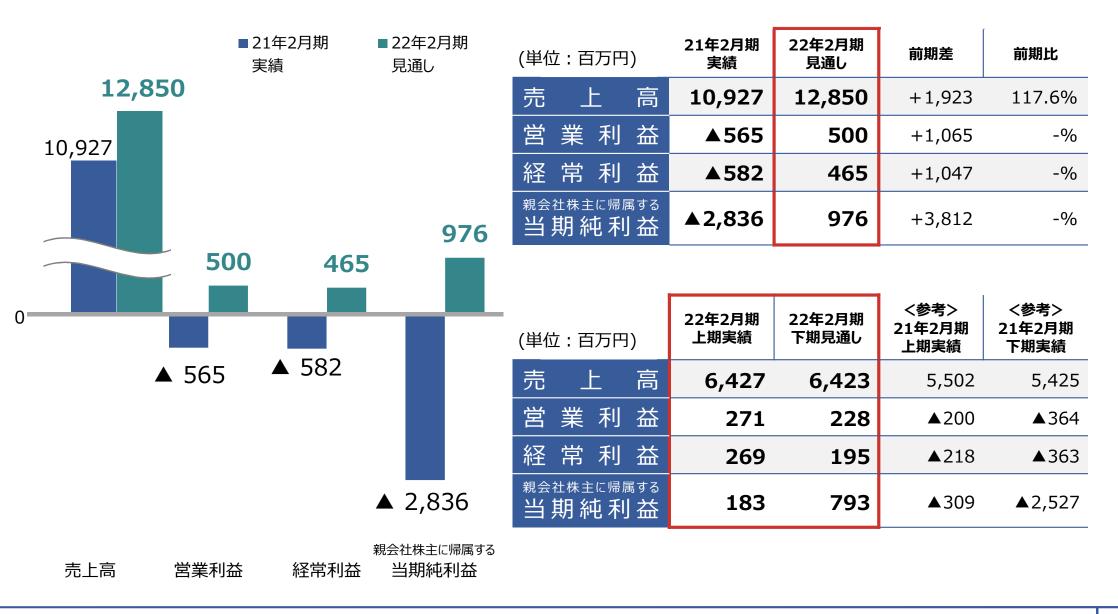


2022年2月期 通期連結業績予想

2022年2月期 通期連結業績予想



■ 第2四半期実績と事業環境より21年10月5日に通期連結業績予想を上方修正



2022年2月期セグメント別業績予想



(単位:百万円)

				I	I	\ <u>-</u>	Z 1 [[]/31]/
		21年2月期 実績	22年2月期 見通し	前期差 増減	22年2月期 上期実績	22年2月期 下期見通し	上下 増減
	放電加工·表面処理	5,818	6,581	762	3,264	3,317	+52
売	航 空 ・ 宇 宙	1,252	1,699	447	823	875	+51
嵩.	交 通 ・ 輸 送	377	540	162	308	231	▲ 77
,,	環境・エネルギー	4,189	4,342	152	2,131	2,210	+78
営業	美利益	▲ 67	475	543	265	210	▲ 55
売	金型	4,010	4,062	51	2,000	2,061	+61
上	住宅	2,779	2,709	▲ 69	1,352	1,356	+4
高	交 通 ・ 輸 送	1,231	1,352	121	647	704	+57
営業	美利益	345	632	286	278	353	+75
売	機械装置等	1,097	2,207	1,109	1,162	1,044	▲ 117
\vdash	機 械 設 備	627	1,679	1,051	904	774	▲ 129
高	交 通 ・ 輸 送	469	528	58	258	269	+11
営業	美利益	63	324	260	177	147	▲29
全	社 費 用	▲ 907	▲ 932	▲ 25	▲ 449	▲482	▲ 33
全	売 上 高	10,927	12,850	1,923	6,427	6,423	▲ 3
社	営業 利益	▲ 565	500	1,065	271	228	▲ 42

※22年2月期見通し: 21年10月5日公表 業績予想

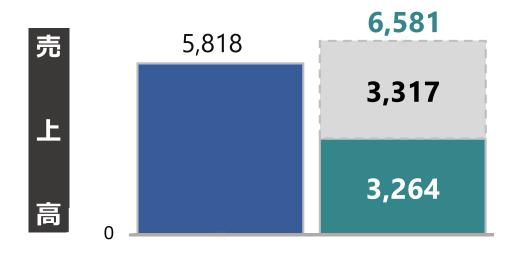
セグメント別詳細:放電加工・表面処理

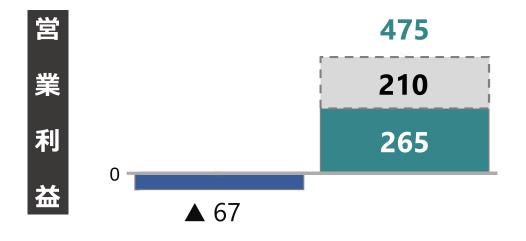


■2021年2月期 通期実績

■ 2022年2月期 下期見通し■ 2022年2月期 上期実績

(単位:百万円)





通期見通し (前期比 増収・増益)

売上高: 5,818 ⇒ **6,581** (+762)

営業利益: ▲67 ⇒ 475 (+543)

売上高下期予想(上期対比)

- ■(↑)航空·宇宙
- ◇航空機エンジン部品が引き続き、 若干の回復傾向があることから増収
- ◇表面処理部品が減産による減収
- ■(↑)環境・エネルギー
- ◇ガスタービン部品は引き続き堅調に推移
- ◇遠心圧縮機関連部品の需要が回復傾向

営業利益下期予想(上期対比)

- **■**(↓)
- ◇航空・宇宙関連でのMROビジネスのメンテナンス サービスとして洗浄工程の立上費用が増加
- ◇交通・輸送関連の減収によるもの

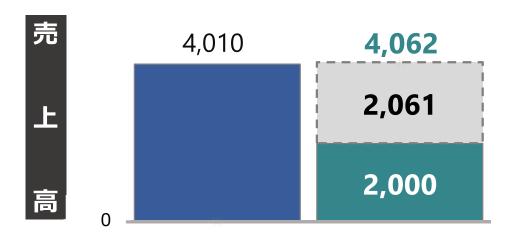
セグメント別詳細:金型

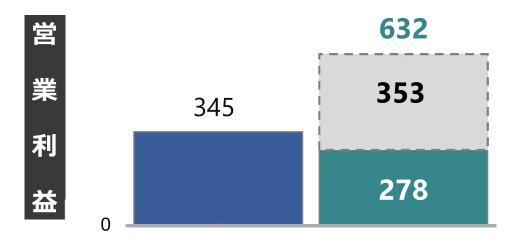


2021年2月期 通期実績

□ 2022年2月期 下期見通し■ 2022年2月期 上期実績

(単位:百万円)





通期見通し (前期比 増収・増益)

売上高: 4,010 ⇒ 4,062 (+ 51)

営業利益: 345 ⇒ **632** (+286)

売上高下期予想(上期対比)

- ■(↑)住宅関連
- ◇アルミ押出用金型は、国内・海外子会社ともに ト期並みに推移
- ■(↑)交通·輸送
- ◇セラミックスハニカム押出用金型は、直近の受注 環境と生産計画の状況から回復傾向にあり増収

営業利益下期予想(上期対比)

- **■**(↑)
- ◇増収によるもの
- ◇生産の合理化による原価改善によるもの

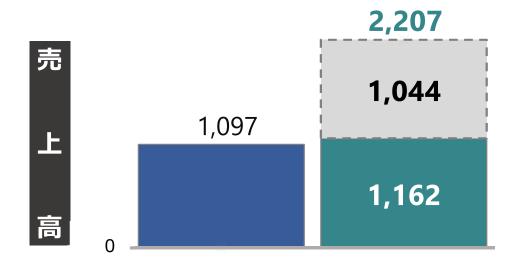
セグメント別詳細:機械装置等

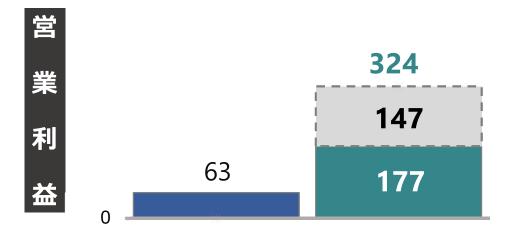


2021年2月期 通期実績

■ 2022年2月期 下期見通し■ 2022年2月期 上期実績

(単位:百万円)





通期見通し (前期比 増収・増益)

売上高: 1,097 ⇒ **2,207** (+1,109)

営業利益: 63 ⇒ **324** (+260)

売上高下期予想(上期対比)

- ■(↓)機械設備
- ◇自動車業界の設備投資の延期による プレス機販売の期ズレ
- ◇プレス付帯設備は堅調に推移
- ■(↑)交通·輸送
- ◇自動車関連プレス部品は、シェアリングサービスの 受注が増加

営業利益下期予想(上期対比)

- - ◇減収により減益

18

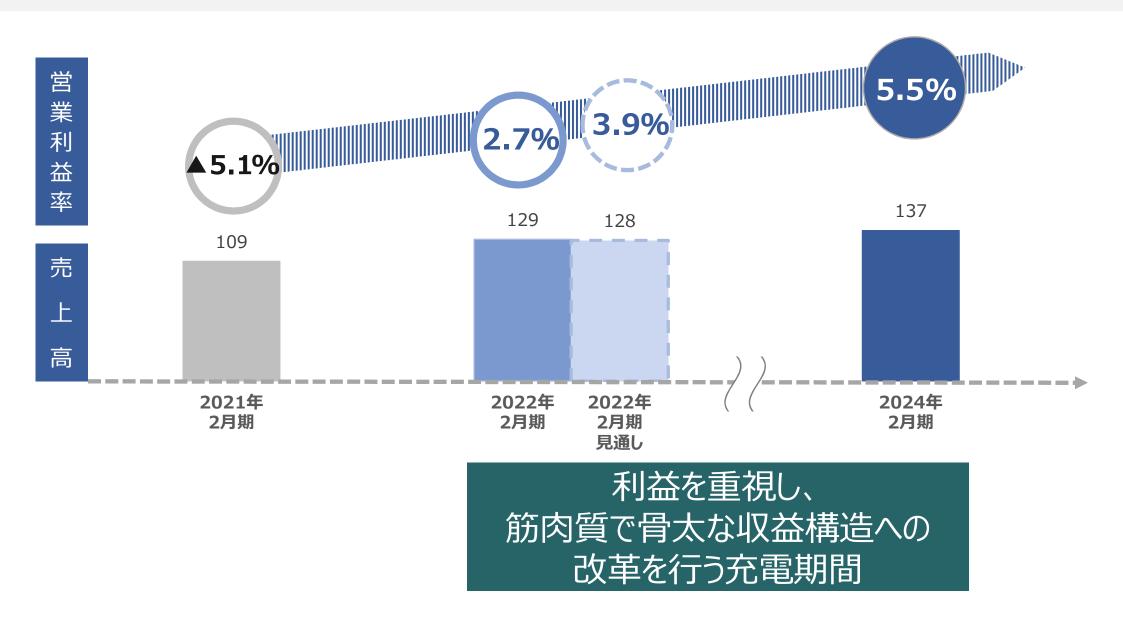


事業環境認識と取り組み状況

中期経営計画2024



次世代に向けた再構築を目指して



航空・宇宙



厳しい状況の中でも、将来に向けた取り組みを着実に推進

航空機エンジン部品

- 低圧タービンブレード
- ·圧縮機燃焼器部品



航空宇宙関連部品

- ·航空機器機体部品
- ・ロケットエンジン部品



事業環境認識

□航空業界の一部にゆるやかな回復

- ●中小型機は国内線旅客需要により回復傾向
- ●大型機は貨物需要により緩やかに回復傾向も 依然として国を跨ぐ移動制限により、旅客需要 は低調
- ●国内需要と昨年の生産停止による影響から メンテナンス需要は急速に増加

取り組み状況

□航空機エンジン部品は保有設備の稼働率改善

●生産体制を維持し、航空機エンジン部品 以外のアイテムを生産

□エンジン部品のメンテナンスサービスを本格稼働

- MROビジネスによるメンテナンスサービスとして 洗浄工程を開始し、生産の安定化を図る
- ●担当工程拡大に向けた取り組みを推進

□航空機エンジン部品メーカーを目指した活動

- APNetサービス(サプライヤーチェーンネットワーク)は 担当領域拡大や新規アイテム獲得に向けた 取り組みを推進
- ●検査人員育成事業は第1期生育成を実施中

航空・宇宙分野の中期施策と進捗

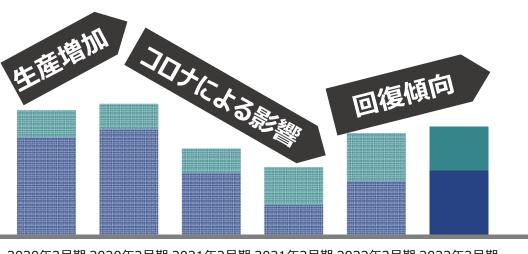


大型機の緩やかな需要回復を想定し、3年後の黒字化を目指す

現在までの進捗状況

売上高推移

■航空機エンジン事業 ■航空宇宙関連部品



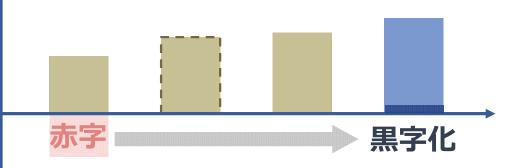
2020年2月期 2020年2月期 2021年2月期 2021年2月期 2022年2月期 2022年2月期上期下期上期下期見通し

一番厳しい状況からは脱出見込み

APNetサービスやMROビジネスによるメンテナンスサービスで 航空宇宙関連部品を先行してトータルソリューションの提供体制に

中期展開(前回より変更無し)

生産体制の最適化による収益基盤再構築



2021年2月 2022年2月 2023年2月 2024年2月

- ■市場回復による航空機エンジン部品事業アイテムの 生産数量回復は2024年まではかかる見通し
- ■トータルソリューションの能力強化で 航空機エンジン部品メーカーを目指す

環境・エネルギー



エネルギーは基盤強化、環境は社会課題に向けた取組みを推進

エネルギー分野

- ガスタービン部品
- •遠心圧縮機関連部品



ガスタービン (画像提供:三菱重工㈱)

環境分野

- ・クロムフリー表面処理剤
- ·混合溶融技術



クロムフリー表面処理剤

事業環境認識

□脱炭素化加速

- ●脱炭素化の開発は加速
- ●天然ガスによる発電の需要は暫く継続
- ●化学プラントは延期していた工事が再開

□資源循環型社会実現に向けた取り組みが加速

- ●3R、サーキュラー・エコノミーへの急速なシフト
- ●プラスチック資源循環促進法が成立

取り組み状況

□ガスタービン部品の生産体制の強化

- ●生産の合理化による収益力向上
- ●安定したサプライチェーンをさらに強化

□遠心圧縮機関連部品の競争力強化

●特化技術による新規アイテム獲得

□クロムフリー表面処理剤の適応範囲の拡大

●現地施工サービス等の拡販

□混合溶融技術は各種素材の試作開発を推進

- ●バイオマスプラスチック等の素材・成形技術 の蓄積
- ●新たな混合溶融機の構想設計に着手

交通·輸送



既存アイテムによる収益力の強化

当社技術活用箇所



ガソリン,HV

- ・排気ガス浄化装置
- アイドリングストップ機構エンジン



FCV

- ・燃料電池スタック
- ・次世代モデルR&D支援

事業環境認識

□メーカーの生産計画見直し

●半導体や原材料不足などによる一時的な減産

□カーボンニュートラル加速

- ●中国・インドの排ガス規制強化
- ●欧州を中心としたEV需要の増加・シフト
- ●FCV車向け燃料電池の需要増加

取り組み状況

□セラミックスハニカム押出用金型の大型対応 強化

- ●大型品のリードタイム短縮および品質向上に むけた設備の増強
- ●需要の回復に対応する生産体制の見直し

□表面処理部品の生産性改善

●需要変動に合わせた生産体制を構築

□プレス部品加工のIoT活用した省人化推進

- ●デジタルを活用した生産効率向上
- ●電池関連部品等の新規案件獲得に向けた 取り組みを強化

機械設備



カーボンニュートラル・DXに適応したプレス機としての進化と拡販











デジタルサーボプレス機ZENFormer

回生システムを標準搭載することで省エネ対応

事業環境の認識

□製造業における脱炭素化が加速

- ●生産時の二酸化炭素削減に向けた取り組み
- グリーンエネルギーへの切り替え

□次世代自動車普及に向けた取り組みが加速

- ●燃料電池の需要増加
- ●半導体の需要増加
- ●自動車部品の軽量化技術の開発が加速

取り組み状況

□需要拡大ツールとしてシェアリングサービスを 積極活用

- 従来のプレス機から省エネ対応プレス機へ 切替促進
- ●燃料電池部品セパレーター成形機としての 更なる地位向上に向けた拡販
- ●炭素繊維などのマルチマテリアル素材の製品 成形や高精度・高難度成形機として販促強化

□サービスの強化

- ●DXを活用した生産性向上支援
- ●シェアリングサービス拠点の拡充

機械設備の主力サービスの戦略と進捗状況



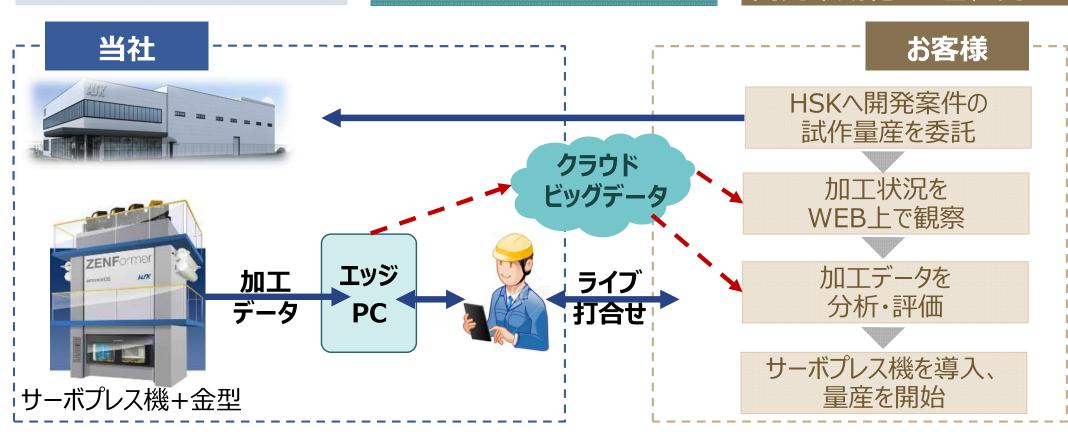
材料メーカーや部品メーカーなどの製品の軽量化技術の開発が加速

複雑化するマルチマテリアル (異種複合材)の成形需要が増加

主力サービスの体制強化①シェアリングサービス
②クラウド型サポートシステム

当社の サーボプレス機・金型拡販

お客様の 開発早期化・生産性向上



26

住宅



市場環境に合わせた生産体制の最適化

当社技術活用箇所





- ・フェンス、カーポート
- ・門扉

事業環境認識

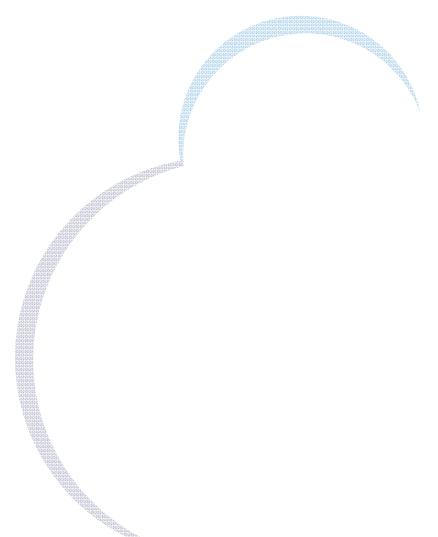
- □住宅の新築・ビル改修需要は鈍化
 - ●少子化により住宅着工件数は減少
 - ●オフィスビルは計画の先送りにより回復遅れ
- □住宅窓の高機能化・省エネ化
 - ●ZEBやZEH対応を想定した製品需要

取り組み状況

□アルミ押出用金型の収益力強化

- ●製造コストの最適化、品質・供給の安定化
- ●データを活用し生産性の合理化を推進
- ●付加価値の高い解析・設計サービスの充実化
- ●海外拠点も含めた生産体制強化
- ●金型用工具は大型品の生産性を向上





トピックス

トピックス①-混合溶融技術の取り組み状況(1)//////

プラスチックの社会課題

- ◆廃プラスチックの輸出規制
- ◆脱炭素に向けたプラスチックの サーマルリサイクルが国際的視点で懸念
- ◆プラスチックによる海洋汚染問題



業界動向

- ◆マテリアルリサイクルへのシフトと 3R、サーキュラー・エコノミーの推進
- ◆国内でプラスチック資源循環促進法が成立
- ◆バイオマスプラスチックを2030年までに 約200万トン導入目標に向けて



資源循環型社会を実現する混合溶融技術

ヒーター等の熱源を使わず、物質同士が衝突時に発する 熱エネルギーを活用し、これまで混ぜることが困難だった 異なる融点の材料同士の混合溶融を実現

特徵

- ◎ 多種多様な異なる融点の樹脂材料同士を混合融合可能
- ◎ バイオマス高充填のバイオマスコンポジット材を製造可能
- ◎ ヒーターを使わず短時間で混合融合する為、材料が劣化し難い
- ◎ 溶融時の溶剤は水のみ。高温高圧環境下で融合可能

トピックス①-混合溶融技術の取り組み状況(2)/////

混合溶融技術の確実な立上中

混合溶融



未活用天然資源(木、竹、バガス等)

フードロス (貝、珈琲粕等)

セルロースファイバー

バイオマス

熱可塑性樹脂 (PP/PE/PET等)

> 生分解性樹脂 (PLA/PHA等)

再生プラ・海洋プラ

樹脂

各種組み合わせと条件からバイオマスプラスチック等の 資源素材の試作開発を推進





既存の設備・製品製造ノウハウと 材料から得たノウハウを組み合わせ 独自の混合溶融機製造に着手

各種成形方法による 製品試作・量産製品開発

その他取り組み



サッカーチーム大和シルフィード様に 贈呈した練習用のマーカーコーン (木粉51%+PE49%)

資源循環型社会に向けて 地域や業界を越えた 連携による理解促進への 取り組みを開始

トピックス②-積極的に各種展示会へ参加





航空宇宙分野の国際展示商談会

会期:2021年10月12日~14日

会場:愛知県国際展示場

URL: https://www.aeromartnagoya.com/index.php/ja/

狙い:航空機エンジン部品の取引拡大



金属塑性加工技術のオンライン商談会

会期:2021年11月29日~12月3日

URL : https://www.mf-tokyo.jp/j/

狙い:マルチマテリアルに向けたサーボプレス機の拡販

高機能素材 Week 内

セラミックスジャパン

高機能セラミックス展

(1999) サステナブルマテリアル!!!

高機能セラミックス製造加工技術などが出展

会期:2021年12月8日~10日

会場:幕張メッセ

URL : https://www.ceramics-japan.jp/

狙い:粉体成型用サーボプレス機の拡販



環境配慮型材料などの資源・材料が出展

会期:2021年12月8日~10日

会場:幕張メッセ

URL: https://www.susma.jp/

狙い:混合溶融技術の取り組み紹介・拡販

みんなの「知らない」をカタチにする 人人人 株式**放電精密**_{加工研究所}

本資料に記載された目標や予測等、将来に関する記載が記述があります。 資料作成時点での当社の判断に基づき作成したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。 また、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績や結果とは異なる場合があります。